森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち

「新しい林業」に向けた林業経営育成対策（継続）【令和５年度予算概算決定額　269,388（332,514）千円】

＜対策のポイント＞

伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」の実現に向け、林業経営体がエリートツリー等の**新たな技術の導入により、収益性の向上を図り、経営レベルで「伐って・使って・植えて・育てる」を実現できるよう「新しい林業」の経営モデルを構築**するとともに、国有林の特性を活かし、**生産・造林の効率化技術等を実証**し、**「長期にわたる持続的な経営」を担う林業経営体の育成**を図ります。

＜政策目標＞

○　主伐の林業生産性向上（５割向上［令和12年まで］）

＜事業の内容＞

「新しい林業」経営モデル構築事業

１．経営モデル実証事業　　247,000（298,693）千円

新たな技術の導入による伐採・造林の省力化や、ICTを活用した需要に応じた木材生産・販売など、**林業収益性等の向上につながる経営モデルの実証、**２の成果も含めた**「新しい林業」経営モデルの構築・普及の取組を支援**します。

【具体的な支援内容】

民間団体等が、研究機関等の支援機関などと共同して実証事業を行う林業経営体等を選定し、これらの者が新たな技術を導入して、森林調査、素材生産、流通、再造林等を行う際の経費を支援します。

２．国有林活用型生産・造林モデル実証事業　22,388（33,821）千円

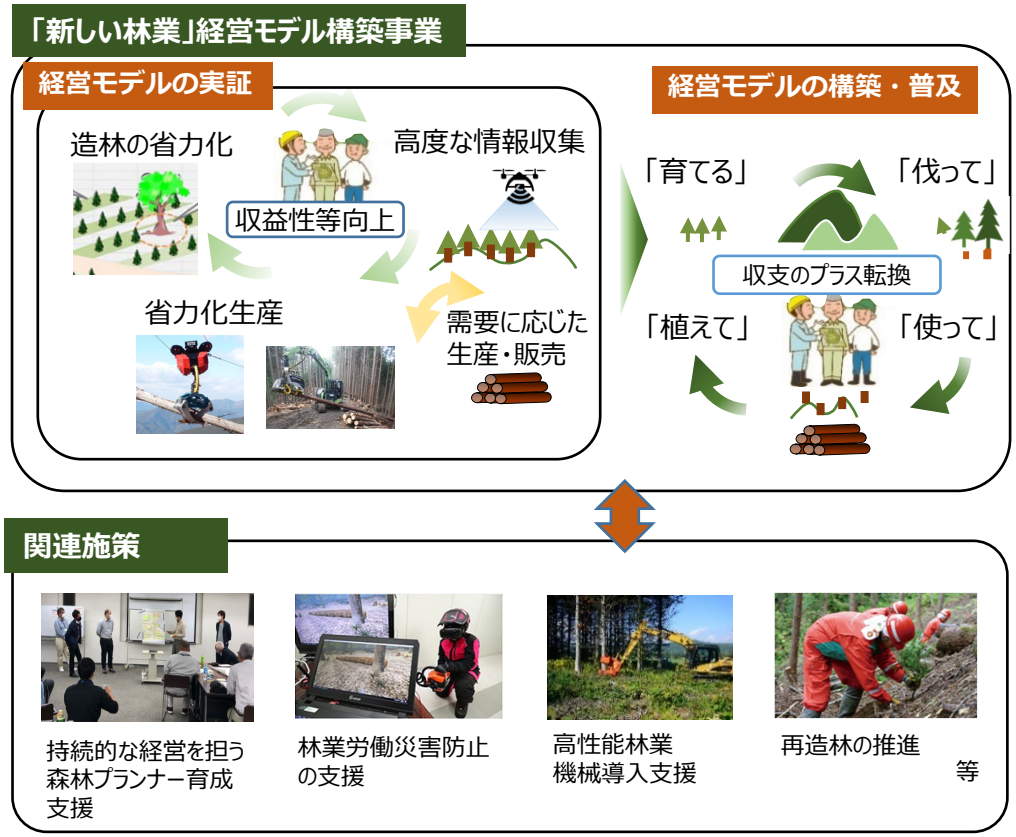
新たな生産・造林方法の導入を行いやすい国有林の特性を活かし、**生産・造林の効率化技術等を実証**します。

＜事業の流れ＞

国 →（定額）→ 民間団体等 →（定額、2/3、2/9）→ 林業経営体等（１の事業）

※　２の事業は、国有林において直轄で実施

＜事業イメージ＞



［お問い合わせ先］（１の事業）林野庁経営課（03-3502-1629）
（２の事業）　業務課（03-6744-2326）